



漢字学習との魅力ある出会いを

楽しくてもっと学習したくなる漢字指導の工夫

新しい指導を考える会

子どもたちが主体的に漢字を習得しようとする態度を育てるためには、漢字のおもしろさや不思議さにたくさん触れさせることで漢字の魅力を味わわせ、漢字学習の楽しさをたつぷりと体験させることが重要であると考えます。そのためには、子どもたちが必然性を感じられるような学習材の開発や指導の工夫・改善が必要である。

■四文字熟語漢字カルタゲーム

使用頻度の高い四文字熟語を数十個用意し、読み札と取り札を作る。読み札には、例えば、「二期一会」の場合、「①二期（いちご）」と書き、取り札の表には「二期会」、裏には意味を書いておく。クラスのグループ分作って一斉にカルタ取りゲームをするように取り組める。普段よく耳にする四文字熟語の読み方や意味を知ることができる実践である。



【取り札】

【読み札】

■漢字のパートナー探し

漢字の一部分が記されたカードを組み合わせて、漢字を組み立てるゲームである。カードをクラスの人数分用意しておき、子どもたち全員に一枚ずつ持たせる。合図があるまではカードは裏返しにしておく。「始め」の合図で、ひっくり返して自分の

カードを確認し、組み合わせられそうなカードを持つている相手を探し出す。できた組み合わせの漢字を黒板にはり出し、各自ワークシートに書き込み、練習する。漢字はさまざまな部分が組み合わさってできていることを知り、漢字を正しく書く力を養うことができる実践である。

■漢字一文字で表してみよう

帰りの会などで一日を振り返るとき、自分の気持ちを漢字一文字で書かせ、その理由を発表させる活動である。月ごとや学期ごとに時間を設けたり、年末に、「今年一年を漢字一文字で表現してみよう」というテーマで行ってもおもしろい。このとき、辞書を積極的に使うなどして自分の思いにぴったりの漢字を吟味して選び出し、表現させることが重要である。言葉への関心が高まり、言語感覚を磨くことができる。

子どもたちが意欲的に漢字を習得しようとする態度を養うためには、子どもたちと漢字学習との「魅力ある出会いの場」を創意工夫し、子どもの内面に知的世界を豊かに作り上げることが重要である。また、反復学習とともに、日ごろから漢字を使わせる、辞書を引く習慣を身につけさせるなどの指導の充実も忘れてはならない。